大正まち協だより

発行日：令和7年　3月 15 日
発行者：大正校区まち協

第 52 回　大牟田市校区コミュニティ研究大会

2 月 15 日に大牟田市文化会館において、「第 52 回大牟田市校区コミュニティ研究大会」が催され、地域の好事例として大正校区の取り組みを田中会長より発表しました。
コロナ禍で6年ぶり第 2 回の開催を目指した「大正まつり」が天候不良により順延したり、当日は音響のトラブルが発生したりと決して順風な開催とは言えなかった事態を、校区の皆さんのサポートで無事に乗り越えた模様を大正校区まちづくり協議会の由布役員作成のビデオで紹介しました。
「住んで良かった」と思われる大正校区に向かってみんなで一歩ずつという姿勢は来場された皆さんに非常に好評でした。
他には大牟田駅西口（西鉄側）でハラハーモニーコーヒーやグリーンバードの活動を行っている、冨山さんと大牟田認知症カフェ連絡協議会の代表である松嶋さんからも活動内容の報告がありました。



大正カフェ



2 月の大正カフェは、人気のカラオケ大会♬　多くの参加者の方が自慢の歌声を披露しました。

わくわく子どもまつり





２月 23 日に手鎌地区公民館で行われた「わくわく子どもまつり」に大正子どもの居場所スタッフで出店しました。ブースには300人近い子供たちにご来場いただきました。

大牟田よかもん物語　第四部

大正校区まちづくり協議会の主催イベントではないですが、2 月 24 日に中央地区公民館において「大牟田よかもん物語」の第四部が開催されました。大牟田の「よかもん＝宝」にスポットを当てて、紹介する「よかもん物語」の第四部は、炭坑電車と延命公園、それに小浜町の生みの親である小川半吾と浜田又平についてでした。

三池藩の下級藩士であった小川半吾は貧しい農民のために埋め立てを行うことを思い立ちますが、天候等々で挫折します。そこで、熊本の富豪である浜田氏を頼りその後ろ盾を得て八十町歩の小浜開を完成させました。明治 14 年のことです。小川氏と浜田氏の功績を称え、名前をそれぞれ取って小浜町と命名されました。なお、この物語をを大正小学校の５年生の野口侑隼君と宮島雷君が紙芝居で発表してくれました。

